臼杵市指定避難場所

二次避難場所

平成26年4月1日現在

	施設名	住所	
1	臼杵市民会館	大字臼杵72-83	▲
2	社会福祉センター	大字臼杵4-1	▲
3	諏訪山体育館	大字諏訪595-5	
4	柔剣道場	大字臼杵81-95	▲
5	臼杵中央公民館	大字臼杵2-107-562	▲
6	野津中央公民館	野津町大字野津市184	
7	松ヶ岳地区公民館	大字岳谷	
8	久木小野多目的研修集会施設	大字久木小野285-2	
9	中臼杵農村環境改善センター	大字武山1838	
10	臼杵小学校	大字臼杵65	▲
11	福良ヶ丘小学校	大字福良360-1	
12	市浜小学校	大字戸室503	
13	下南小学校	大字望月815	
14	海辺小学校	大字大浜173	▲
15	佐志生小学校	大字佐志生3015-1	▲
16	下ノ江小学校	大字大野1955	
17	下北小学校	大字稲田862	▲
18	上北小学校	大字末広2487-2	
19	旧中臼杵小学校	大字吉小野4296	
20	臼杵南小学校	大字掻懐1483	
21	野津小学校	野津町大字山頭3100	
22	旧田野小学校	野津町大字亀甲4014	
23	川登小学校	野津町大字清水原1341	
24	南野津小学校	野津町大字西畑600	
25	東中学校	大字臼杵71-18	▲
26	西中学校	大字戸室535	
27	北中学校	大字江無田132-1	▲
28	南中学校	大字掻懐2227	
29	野津中学校	野津町大字野津市666	
30	旧戸上小学校	野津町大字西寒田2989	
31	旧都松小学校	野津町大字都原1114-1	
32	旧上浦小学校	大字大泊215-2	▲
33	旧深江小・中学校	大字深江1512	▲
34	旧宮本小・中学校	大字東神野3403	
35	旧西神野小学校	野津町大字西神野1070	
36	臼杵高校	大字海添2512	▲
37	津久見高校海洋科学校	大字諏訪254-1-2	
38	南野津地区公民館	野津町大字吉田161	
39	田野地区公民館	野津町大字亀甲4010	
40	臼杵支援学校	大字井村911	

▲は海抜10m以下にある施設です。
※上記施設の中には、津波災害時には使用できないものもあります。
※災害に合わせて避難所の開設を行います。

市との協定を締結している施設

福祉避難場所（福祉施設）

平成26年4月1日現在

	施設名	住所
1	四季の郷	大字江無田1119-5
2	みずほ学園	大字戸室1205-1
3	聖心園	大字江無田1600-5
4	あらかしの園	大字井村2209
5	高齢者総合福祉施設 緑の園	大字大泊220
6	元特別養護老人ホーム 緑の園	大字諏訪289-1
7	緑の園デイサービスセンター ふれあい	〃
8	緑の園デイサービスセンター やすらぎ	大字諏訪289-1
9	潔き聖母の家	大字都原3590-1
10	優和	〃
11	特別養護老人ホーム栄寿荘	大字落谷530
12	グループホームさるびあ	大字宮原1181
13	グループホーム無量寿	大字末広915
14	グループホームふくすけ	大字戸室1135-1
15	グループホーム望喜家	大字江無田1100

津波避難ビル

平成26年4月1日現在

	施設名	住所
1	コンフォート千代田	大字野田339-2
2	サンリブ臼杵	大字江無田266-5
3	M・サンルーラル江無田	大字江無田字向津留99
4	クレドホテル臼杵	海添2573-10
5	レイフ・ハーメイン諏訪	大字諏訪字村下649-4

避難場所（施設の一部）

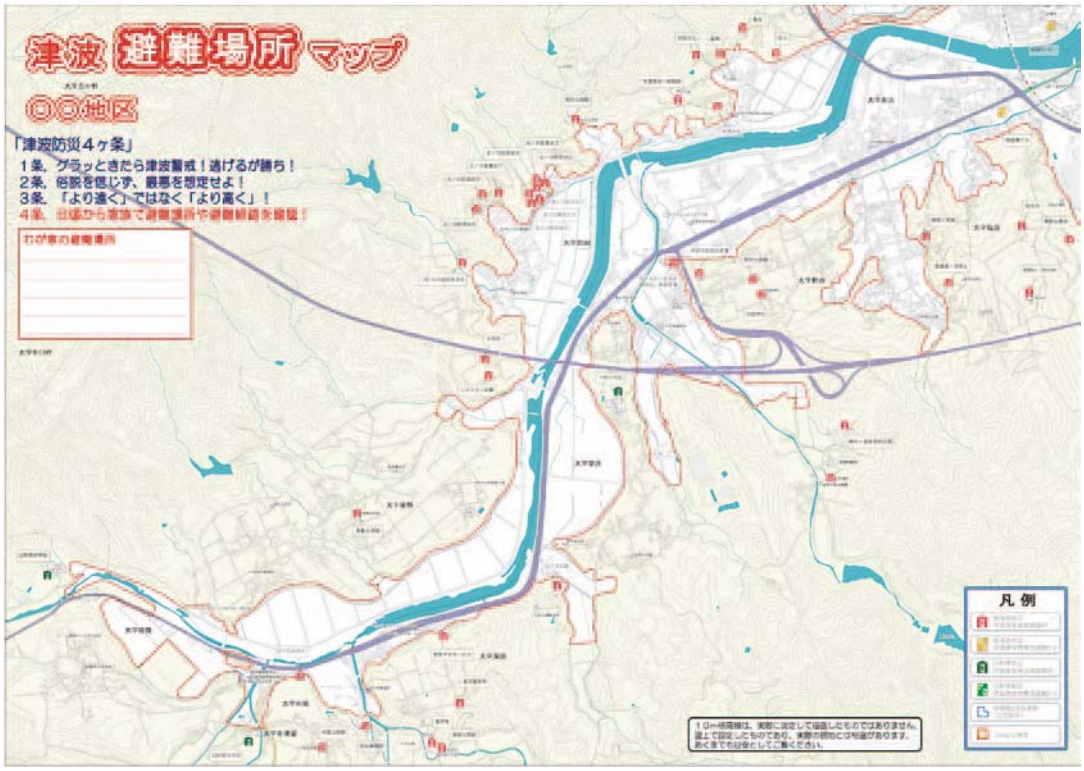
平成26年4月1日現在

	施設名	住所
1	臼杵内科リハビリテーション医院 4階大会議室	大字市浜694-1
2	介護老人保健施設　南山園 3階デイルーム	大字海添250

地震・津波

活用しよう！ 地域の津波避難場所マップ

一・我が家の避難場所を確認しましょう！
二・避難経路を確認してマップに書き込みましょう！



海抜表示板

津波からの避難に役立つ「海抜表示板」

現在臼杵市では、想定される津波の高さを10mとしています。市街地、海岸近くや川に近い屋外にいるとき地震が発生したり、大津波警報・津波警報や津波注意報が発表された場合はこの表示板をめやすに、海面から10m以上の高い場所に避難しましょう。

市役所前の海抜表示板

地震・津波

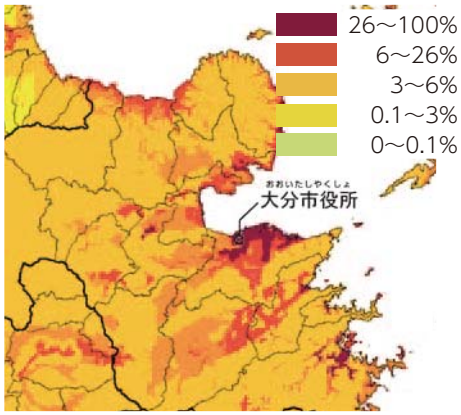
臼杵市にも大地震、巨大津波の危険があります

日本には、地震や津波の被害を受けない安全な場所はありません

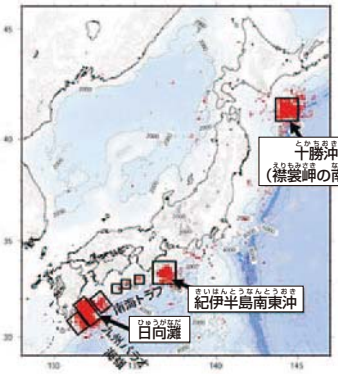
今後30年間に臼杵市を震度6弱以上の地震がおそう可能性があります

右は、文部科学省が公表している、今後30年間に大分県が震度6弱以上の揺れに見舞われる確率を示した予測地図です（カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震）。

これにより、臼杵市を大きな地震がおそう可能性のあることがわかります。しかもこの地図は、巨大津波をともなう可能性の高い海溝型地震（⬇下記参照）の発生を予測したものです。



（出典 地震調査研究推進本部地震調査委員会「全国地震動予測地図」）



左　出典：文部科学省ホームページ　超低周波地震の分布。学技術研究所［課題番号：3007］）

日向灘と海溝型地震

大分県で起きる地震の多くが、日向灘を震源としていることはよく知られています。日向灘は、フィリピン海プレートとユーラシアプレートの一部が衝突してできた「南海トラフ」という海溝（トラフ）の西端に位置しており、「南海トラフ」と連動した海溝型地震の震源域になっています。

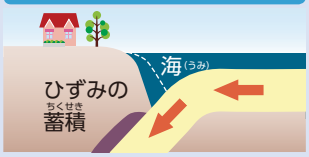
日向灘の海域を震源とする大型の「日向灘地震」は、過去にも多発しています。

海溝型地震って？

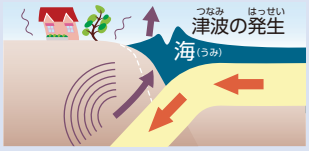
地球を被っている薄い層をプレート（岩板）といい、日本列島は4枚のプレートの上に乗っています。プレートはそれぞれ年に数メートルの速さで移動していますが、プレートどうしがぶつかり合うところにひずみが生じます。そのひずみが限界に達したとき、大規模な「海溝型地震」が起こります。

海溝型地震は巨大津波を引き起こす可能性があります。

海溝型地震のしくみ



海側のプレートが毎年数センチの割合で陸側のプレートにもぐり込み、ひずみが生じる。



ひずみが限界に達すると陸側のプレートが跳ね上がり、地震や津波が発生する。

知っておこう！①

近い将来発生が予測される東海、東南海、南海地震

日向灘地震も連動する

最近の研究で、東海・東南海・南海連動型地震の震源域が日向灘まで伸びる可能性が指摘されています。

臼杵市にも巨大津波の可能性

もしこの3つの地震に日向灘が連動した巨大地震が起きれば、臼杵市を巨大津波がおそう可能性があります。

「臼杵市の地震の歴史」➡19ページ

海溝型地震には周期がある。

東海、東南海、南海地震は、過去におよそ100～150年周期で起きています。

この周期から、近い将来、この3つの地震の発生が予測されています。また、この3つの巨大地震は、同時、あるいは時間的に接近して発生するケースの多いこともわかっています。

歴史に見る東海・東南海・南海地震		
1498年	明応地震（東海）	M8.2～8.4
⬍ 107年		
1605年	慶長地震（南海）	M7.9
⬍ 102年		
1707年	宝永地震（南海）	M8.4・8.7
⬍ 147年		
1854年	安政南海地震（南海）	M8.4
	安政東海地震（東海）	M8.4
⬍ 90年		
1944年	東南海地震（東南海）	M7.9
1946年	南海地震（南海）	M8.0

気象庁「気象庁震度階級関連解説表」より

震度階級	人の体感・行動、周囲の状況
0	・人は揺れを感じないが、地震計には記録される。
1	・屋内で静かにしている人の中には、揺れを感じる人がいる。
2	・屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。 ・電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。
3	・屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。 ・歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。 ・眠っている人の大半が、目を覚ます。 ・電線が少し揺れる。
4	・ほとんどの人が驚く。歩行者のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。 ・つり下げ物は大きく揺れ、棚の食器類は音を立てる。 ・座りの悪い置物が、倒れることがある。 ・電線が大きく揺れる。 ・自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
5弱	・大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ・つり下げ物は激しく揺れ、棚の食器類、本が落ちることがある。 ・固定していない家具が移動したり、倒れることがある。 ・窓ガラスが割れて落ちることがある。 ・電柱が揺れるのがわかる。
5強	・物につかまらないと歩けない。 ・棚の食器や本が落ちる。 ・固定していない家具が倒れることがある。 ・窓ガラスが割れて落ちることがある。 ・補強されていないブロック塀が崩れることがある。 ・自動販売機が倒れることがある。 ・自動車の運転が困難となる。
6弱	・立っていることが困難になる。 ・固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ・ドアが開かなくなることがある。 ・壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6強	・はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ・大半の家具が移動し、倒れる。 ・壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。 ・補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7	・固定していない家具の大半が移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。 ・壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。 ・補強されているブロック塀も破損するものがある。

地震・津波

知っておこう！②

臼杵市の地震の歴史

古文書や地層の調査からわかる、臼杵をおそった地震や津波

臼杵石仏付近まで押し寄せた津波

宝永４年（1707年）10月４日、大地震。津波は海添、祇園洲で床上１メートル余りに達す。海添川、鑪河内（多々良川）、南津留、荒田川、北津留、北の川、末広辺りまで潮溢れ、溺死者数知れず。「温故年表（臼杵藩）より」

とあり、臼杵川河口から約5km内陸にある臼杵石仏付近まで津波が到達したという記録が残っています。

地層調査からもわかりました。

また、高知大学の地層調査でも、過去に巨大津波が大分県をおそったことが確認されております。

「活用しよう! 地域の津波避難場所マップ」➡16ページ

東日本大震災に学ぶ

歴史をふりかえることも防災につながります

「此所より下に家を建てるな」

東日本巨大地震で沿岸部が津波にのみこまれた岩手県宮古市にあって、重茂半島東端の姉吉地区（12世帯約40人）では全ての家屋が被害を免れた。1933年の昭和三陸大津波の後、海抜約60メートルの場所に建てられた石碑の警告を守り、坂の上で暮らしてきた住民たちは、改めて先人の教えに感謝していた。

「高き住居は児孫の和楽
想へ惨禍の大津浪」

本州最東端の魵ヶ埼灯台から南西約2キロ、姉吉漁港から延びる急坂に立つ石碑に刻まれた言葉だ。結びで「此処より――」と戒めている。

地区は1896年の明治、1933年の昭和と2度の三陸大津波に襲われ、生存者がそれぞれ2人と4人という壊滅的な被害を受けた。昭和大津波の直後、住民らが石碑を建立。その後は全ての住民が石碑より高い場所で暮らすようになった。

地震の起きた11日、港にいた住民たちは大津波警報が発令されると、高台にある家を目指して、曲がりくねった約800メートルの坂道を駆け上がった。巨大な波が濁流となり、漁船もろとも押し寄せてきたが、その勢いは石碑の約50メートル手前で止まった。地区自治会長さんも「幼いころから『石碑の教えを破るな』と言い聞かされてきた。先人の教訓のおかげで集落は生き残った」と話す。

（2011年3月30日 読売新聞）

風水害

風水害

風水害対策の基本は、まず、情報収集!

台風や豪雨は、襲来時期や規模をある程度予測することができます。日ごろから天気予報を気にかけ、注意が必要なときにはテレビやインターネットで最新の情報を収集するようにしましょう。

注意報 災害の起こる恐れのあるときに発表されます。

警報 重大な災害の起こる恐れのあるときに発表されます。

特別警報 重大な災害の起こる恐れが著しく大きいときに発表されます。

台風

雨や風が強くなってから対策を始めるのは危険。台風の接近が予測されたときには早め早めに準備をしましょう。

集中豪雨

短時間にせまい地域に集中して降る集中豪雨は発生の予測が難しく、急激に状況が変化します。異常や危険を感じたらすぐに避難するようにしましょう。

● 台風の大きさと階級分け

階級	風速15m～(毎秒)以上の半径
大型(大きい)	500km以上～800km
超大型(非常に大きい)	800km以上

(気象庁による)

● 台風の強さと階級分け

階級	最大風速(毎秒)
強い	33m以上～44m未満
非常に強い	44m以上～54m未満
猛烈な	55m以上

(気象庁による)

● 風の強さと人への影響、想定される被害

平均速度(毎秒)	予報用語	人への影響、想定される被害
10m以上～15m未満	やや強い風	風に向かって歩きにくくなる。取り付けの不完全な看板やトタン板が飛び始める。
15m以上～20m未満	強い風	風に向かって歩けない。転倒する人が出る。ビニールハウスが壊れ始める。
20m以上～25m未満	非常に強い風(暴風)	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物でガラスが割れる。
25m以上～30m未満		立っていられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れ始める。
30m以上～	猛烈な風	屋根が飛ばされる。木造住宅の全壊が始まる。

(気象庁による)

● 雨の強さと人への影響、想定される被害

1時間の雨量(mm)	予報用語	人への影響、想定される被害
10mm以上～20mm未満	やや強い雨	地面からの跳ね返りで足下がぬれる。長く降り続くときは注意が必要。
20mm以上～30mm未満	強い雨	傘をさしていてもぬれる。側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。
30mm以上～50mm未満	激しい雨	道路が川のようになる。山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。
50mm以上～80mm未満	非常に激しい雨	水しぶきで視界が悪くなる。地下に雨水が流れ込む。土石流が起こりやすい。
80mm以上～	猛烈な雨	大規模な災害が発生する恐れが強い。厳重な警戒が必要。

(気象庁による)

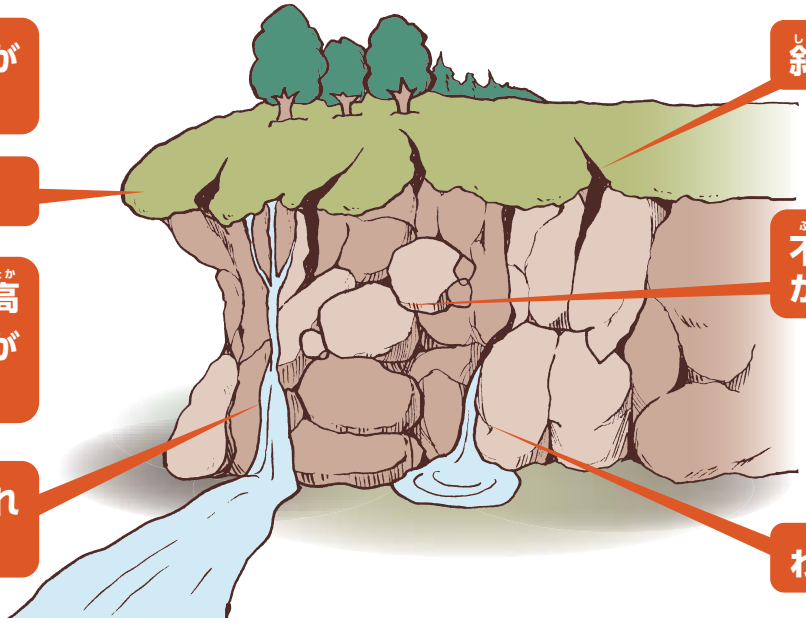
土砂災害

梅雨、台風、集中豪雨。雨が続くときは土砂災害に注意

臼杵市内には、山崩れやがけ崩れ、土石流（山津波、鉄砲水など）、地すべりの被害が予想される箇所があります。地震や台風、近年地球温暖化に関係して増加している集中豪雨が、こうした危険個所に大きな被害をもたらすことが考えられます。

被害を最小限にするために、一人ひとりが気象情報や危険個所の変化に注意して早めに避難すること、また、地域ぐるみでの注意と警戒が求められています。

こんな「がけ」は危ない



こんな前兆に注意しましょう

がけ崩れ

- がけからの水がにごる。
- 地下水や湧き水が止まる。
- 斜面のひび割れ、変形がある。
- 小石が落ちてくる。
- がけから音がする。

地すべり

- 地面にひび割れができる。
- 井戸や沢の水がにごる。
- がけや斜面から水が噴き出す。

土石流

- 山鳴りがする。
- 雨が降り続いているのに川の水位が下がる。
- 川がにごったり、流木が流れる。
- 腐った土のにおいがする。

異常を感じたら・・・

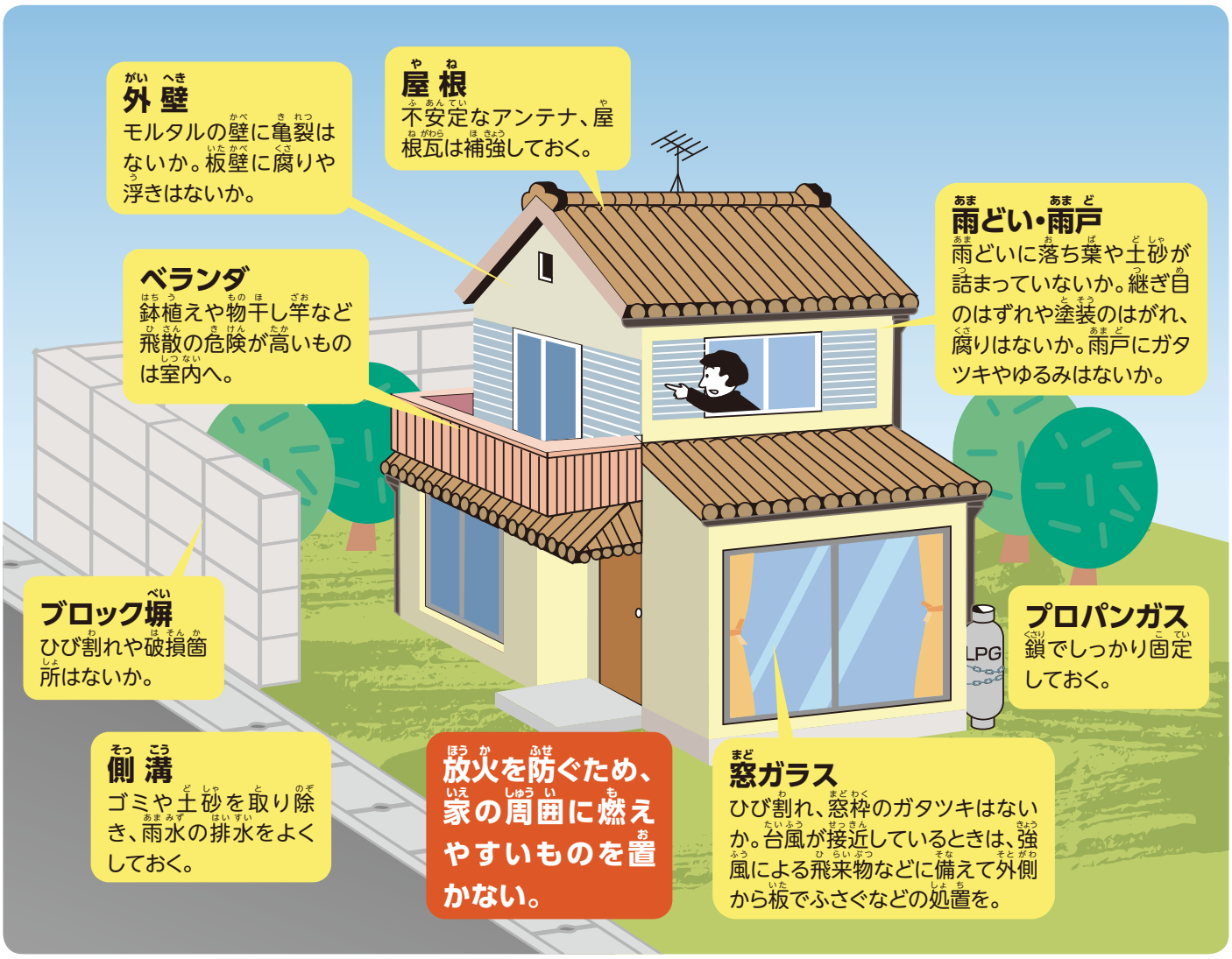
- できるだけ早く周りの人と安全な場所に避難する。
- 市役所など最寄の公的機関に知らせる。

そなえ

地震・津波　火災　風水害

災害に強い住まいにしよう！

地震、火災、風水害にそなえて住まいをチェック



地域の危険個所も確認しよう！

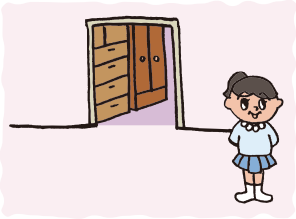
地震に強い住まい

家の中の安全対策

地震の被害を最小限に食い止めるため、身の回りの危険箇所を見直し、事前に安全対策をしておきましょう。

地震発生時に逃げ込めるように　家具のない安全な場所を確保する

人の出入りが少ない部屋に荷物をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。寝室はできるだけ避難しやすい部屋にしておく。

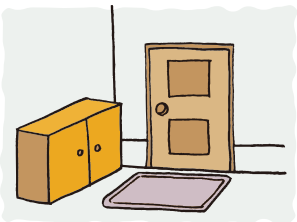


災害時要援護者を守るために　災害時要援護者のいる部屋には倒れそうな家具を置かない

子ども、高齢者、病人など、周囲の支援が必要になる災害時要援護者は、倒れた家具が妨げとなって逃げ遅れるおそれがあるため、できるだけ家具を置かない。

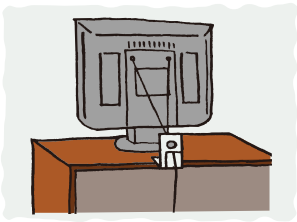
安全に避難するために　出入り口や通路にはものを置かない

安全に避難できるように、玄関など出入り口の通路に家具や倒れやすいものを置かない。また、いろいろなものを置くと、いざというときに出入り口をふさいでしまうことも。



家具によるけがをしないために　家具の転倒・落下の防止策をとる

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすく危険なので、ぴったりくっつけて置く。また、家具の上に落ちる危険のあるものを置かないようにする。

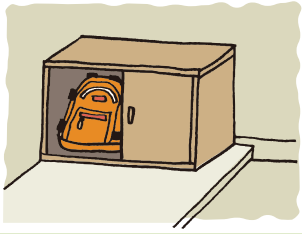


ガラスの破片でけがをしないために　ガラスには飛散防止フィルムをはる

窓や戸棚などのガラスには、飛散防止フィルムをはっておく。窓ガラスは内側に、食器棚や額縁などの家具類のガラス面には外側にはりつける。

避難するときすぐ持ち出せるように　非常持出品は取り出しやすい場所に

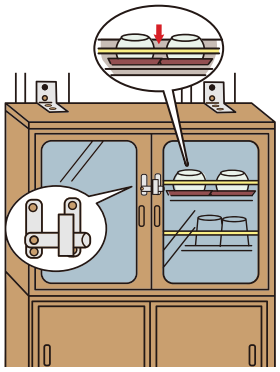
非常持出品は、すぐに持って出ることができる場所に保管。（非常持出品については29ページを参照）。また、定期的に非常持出品の賞味期限や電池残量などをチェックするのも忘れずに。



家具の転倒、落下を防ぐために

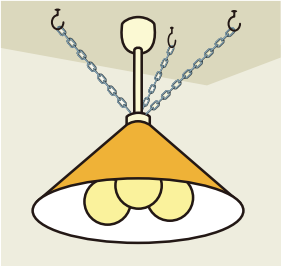
食器棚　中の食器の飛び出しを防止

L字金具などで固定し、棚板にはすべりにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下に、軽い食器は上の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



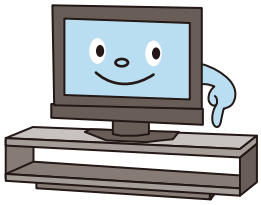
照明器具　鎖と金具を使って固定

鎖と金具を使って数カ所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



テレビ　できるだけ低い位置で

家具の上などは避け、できるだけ低い位置に固定して置く。上に水槽などは置かない。



集合住宅では…

マンションなどの集合住宅では、多くの人たちが暮らしています。そのため、日ごろから住人による防災対策が求められています。

玄関

玄関は、脱出口、避難経路として重要。ふさがれていては逃げ出すこともできない。開かなくなった扉をこじ開けるためにバールなどの用意を。

通路

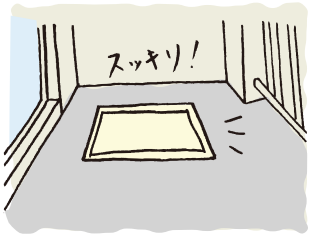
いざというとき安全に避難できるように、通行の妨げにならないように、自転車などものを置かない。また、類焼防止のために、古新聞や布切れなど、燃えやすいものを置かないように。

非常階段・非常扉

ものを置くのは厳禁。とくに非常扉の前は要注意。

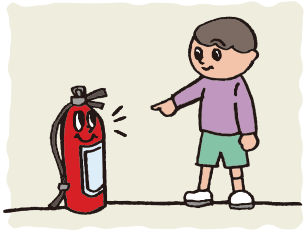
ベランダの避難ハッチ（非常脱出口）

日ごろから使用方法をよく確認しておく。避難器具のまわりに物を置くのは厳禁。落下する危険のあるものは置かないように。



防災施設・消火施設

通路など共用部分に置いてある消火器や火災報知器などの消火施設の場所を日ごろからよく確認しておく。

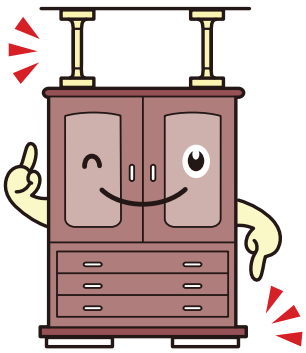


管理組合からの連絡に注意

防災設備の点検や防災訓練のお知らせなど、管理組合からの連絡には日ごろから注意しておく。

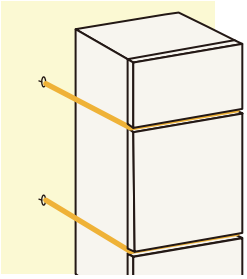
タンス・本棚　L字金具や支え棒などで固定

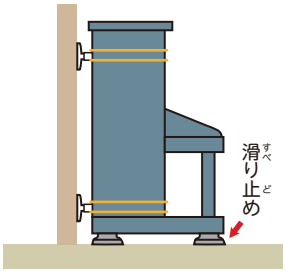
L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具で連結しておく。本は重い物を下に、軽い物を上に置く。



冷蔵庫　金具と針金で固定

扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



ピアノ　脚には滑り止めを

本体にナイロンテープなどを巻いて金具で壁に固定して滑り出しを防止。脚には滑り止めをつける。